

HISTORY

三機工業のあゆみ

三機工業 社名の由来

旧三井物産株式会社の機械部を母体とすることから「三機工業」と命名しました。

	1920～	1930～	1940～	1950～	1960～	1970～	1980～	1990～	2000～	2010～	2020～	2025年 創立
当社のあゆみ	1925年 4月22日 ・三機工業株式会社創立 ・資本金 50万円、従業員 12名	1931年 本社を日比谷へ移転 1935年 創立10周年。5支店、6出張所、関係会社3社、従業員約300名		1950年 ・国内景気の浮揚を背景としたビル建設・設備拡充により業績が向上 ・東京証券取引所に上場 1958年 資本金が10億円を超える	1963年 相模工場(現在の大和プロダクトセンター)竣工、コンベヤの大量生産に適した生産設備を保有	1972年 環境保全総括室を設置 1973年 サッシ事業の分離	1982年 技術研究所を新設		2000年 湘南研修センター開設 2005年 本社を日本橋へ移転	2011年 本社を築地へ移転 2015年 創立90周年 2016年 長期ビジョン“Century 2025”中期経営計画“Century 2025”Phase1スタート 2018年 三機テクノセンター全館運営開始 2019年 大和プロダクトセンター運営開始	2022年 ・サステナビリティ方針を発表 ・SANKIカーボンニュートラル宣言	2025年 創立
世の中の動き	1923年 関東大震災		1945年 終戦	1958年 東京タワー開業	1964年 東京オリンピック	1970年 大阪万博 1972年 沖縄返還	1986年 男女雇用機会均等法施行	1991年 バブル経済の崩壊 1995年 阪神淡路大震災 1997年 京都議定書採択	2008年 リーマンショック	2011年 東日本大震災 2015年 SDGs採択 2019年 令和に改元	2020年 新型コロナウイルス感染症の世界的流行 2021年 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 2022年 ロシアのウクライナ侵攻	

100周年

創業期



三井本館



初代社長
安本明治郎



三信ビル



東京
日本生命館

- 1925年～**
- 暖房、衛生、建材などの事業を開始
 - 電気設備の事業開始
 - 日本初の中館冷房設備を「三井本館」に施工
- 1930年～**
- 三機式ビル用焼却炉を開発し、三信ビルに設置
 - 米国キャリア・エンジニアリング社と共同で東洋キャリア工業を設立し、冷房設備工事を開始
 - 「東京日本生命館(現 高島屋日本橋店)」施工

戦後復興の加速に貢献



第一生命本館



し尿処理場

- 1940年～**
- コンベヤの製造開始
 - 米国ドル社・オリバー社との鉱業化学用機械の販売契約を結ぶ
 - 日本初の受電圧に特別高圧22kVを採用した「第一生命本館」を施工
- 1950年～**
- 日本初の中館蛍光灯照明を採用した「大正海上火災ビル」を施工
 - 都市環境衛生への対応として、し尿処理施設などを手がける
 - 第2次南極地域観測隊にローラコンベヤを納入

高度経済成長期を支えて



国立代々木競技場(当時)



6Sサッシ



クリーンルーム

- 1960年～**
- 日本初の超高層ビル「霞が関ビルディング」の空調・衛生・電気設備を施工
 - 規格型「6Sサッシ」を開発、スチール製サッシメーカーとしてトップシェアを占める
 - 東京オリンピック・パラリンピックの競技場である「国立代々木競技場」の空調・衛生設備を施工
- 1970年～**
- 日本初の大規模クリーンルーム「日本電気相模原工場」を施工
 - 世界初の完全無人化自動仕分けシステムや空港貨物ハンドリングシステムを開発
 - 中東などの衛星通信地上局の空調設備、ロシアの自動車試験設備などを手がける

新たな事業への挑戦



ファシリティシステム
事業



下水の高度処理施設



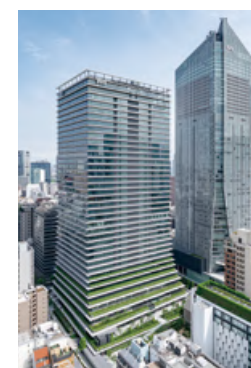
クリーン搬送

- 1980年～**
- 情報通信事業を開始
 - オフィスの統合や移転を行うファシリティシステム事業を開始
 - 各設備の運転管理・保守・メンテナンスを請け負うグループ会社を設立
- 1990年～**
- 氷蓄熱システム、下水の高度処理、ファジー燃焼制御技術などの環境関連技術を開発
 - 医薬工場、半導体工場などのクリーンルーム関連技術を開発
- 2000年～**
- LANやビル監視・自動制御などのネットワークシステムの高度化
 - 省エネルギービジネスを推進・開発・営業支援するため、「エネルギーソリューションセンター」を設立
 - 液晶パネルや有機ELの需要が高まり、クリーン搬送設備を開発・販売

持続可能な未来へ



国立代々木競技場第一体育館



虎ノ門ヒルズ
ビジネスタワー

- 2010年～**
- 企画・設計・施工から保守・運転管理・改修・建替えまで建物・設備のライフサイクルを支えるLCE[※]事業を推進
 - 設計・建設と運営・維持管理を一括受託するDBO案件を受注
 - 東京2020オリンピック・パラリンピックの競技場である「国立代々木競技場第一体育館」の空調・衛生・電気設備(改修)を施工
- ※LCE : Life Cycle Engineering
- 2020年～**
- 「虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー」の空調設備・中央監視・自動制御を施工
 - 自動化・省人化関連技術の開発